

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	堀内理恵
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3248
事務事業名	4123 防犯対策事業											
所 属	120500 市民環境部・市民課											
施 策	13021600 地域安全対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費										
	事業	030000 防犯対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
「犯罪のない、安全安心なまちづくり」を目指して関係機関と連携し、各種防犯活動を実施する。						日頃の散歩を通じたまちの見守り活動等が定着することにより、住民同士のあいさつも自然に交わされ、防犯パトロールや防犯指導が効果的に行われる。また、地域での自主防犯意識が高まることにより、犯罪が起きにくいまちづくりを目指す。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 85.6% 区が行う防犯灯設置事業への補助 53町 221灯	警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助 SNS等を利用した広報啓発活動
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	市内での犯罪発生件数（件／年）				
算式	須坂警察署での集計による				単位 件
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	142	134	125	117
	実績				108
指標選定の理由	地域ぐるみの見守り活動など地域のつながりを強め、市民のみなさん・地域・行政が一体となり犯罪を未然に防ぐまちづくりを目指すため				
最終年度目標の根拠	防災無線や、セーフティー須高の発行など情報発信を行い、犯罪に合わない意識を醸成することが犯罪の発生を抑えることにつながると考え、過去5年間の減少率を参考に2019年度実績値の32.5%減を目標値に設定				
指標名	特殊詐欺被害認知件数（件／年）				
算式	須坂警察署での集計による				単位 件
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	0	0	0	0
	実績				
指標選定の理由	特殊詐欺被害の手口を知り、関係機関・企業・地域住民が一体となり被害防止対策を実施するため				
最終年度目標の根拠	周知啓発等の対策を実施することにより、被害をなくすため				
指標名	「防犯活動に取り組んでいる」人の割合（％）				
算式	市民総合意識調査での集計による				単位 ％
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				50
	実績				
指標選定の理由	地域全体の犯罪被害をなくそうとする意識の醸成が犯罪の防止につながるため				
最終年度目標の根拠	地域での防犯活動を通じて住民の防犯意識の啓発を行い、2019年度実績値33.3%の50%増を目標値に設定				

事業費

（単位：千円）

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		12,389	12,782
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	3,000
一般財源		12,389	9,782
人員数（人）	正規職員	0.6	0.3
	嘱託職員	0.0	0.5
	臨時職員	0.6	0.2
人員コスト	正規職員	4,180.8	2,090.4
	嘱託職員	0.0	1,574.5
	臨時職員	1,006.8	335.6
計		5,187.6	4,000.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		17,576.6	16,782.5

（単位：千円）

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,656	防犯パトロール用帽子等104、防犯灯電気料1,384 防犯灯修繕153
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	1,998	防犯灯LED化工事1,998
18節 負担金補助及び交付金	5,015	須高防犯協会負担金1,966、暴力追放県民センター負担金50 防犯灯設置事業補助金（区）2,999
その他	3,720	郵便料40 他

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,276	防犯パトロール用腕章、マグネットシート90 防犯灯電気料1,700
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	2,000	防犯灯LED化工事2,000
18節 負担金補助及び交付金	5,039	須高防犯協会負担金1,989 防犯灯設置事業補助金(区)3,000
その他	3,467	防犯カメラ運転・保守費用57、駅前防犯カメラ用通信回線利用料128 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	住民の防犯意識を高め、犯罪の起きにくいまちづくりのために必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	街頭啓発や高齢者世帯訪問、防災無線等で注意を促した成果があがっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	各団体と連携し効果的な啓発活動を実施していく。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での啓発活動に制限がある。高齢者等に対する新たに効果的なアプローチ方法の検討が必要である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>犯罪件数は減少傾向であるが、特殊詐欺等の犯罪の多様化・巧妙化による被害が後を絶たない。地域ぐるみで犯罪を防ぐとの意識の醸成を図ることが特に必要であるため、引き続き関係機関・団体とも連携し持続的な防犯活動を推進する。</p>		<p>1次評価と同様。 加えて、財源の確保を検討しながら、防犯灯のLED化の推進を図らなければならない。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	